

有限会社イツワ工業

耐震性のある高精度の金属加工を可能とする設備導入計画

現有の機械の金属切断能力は長さ 3m・厚さ 4.5mm までである。新規設備は長さ4m・厚さ 6.5mm の切断が可能である。顧客ニーズは、耐震性の高い金属加工を求めており、長さ・厚み・加工精度を高めることで、高い耐震性が要求される製品の受注が可能となる。

事業取組みの経緯

当社は、鋼製建具(自動ドア・柵・防火扉)や建物金物(手摺・パネル)、薄板加工が主力。近年は全国的な耐震工事増加に伴い、業界全体として耐震性の高い金属加工のニーズが高まり、当社も一部耐震工事に関する部品を製造している。

今回の事業は、この顧客の“耐震性”の高度化ニーズに対応するための設備投資を行うものである。

実施内容

- ① 当社の切断機は、県内に流通する金属の長さ4mに対し3mまでしか対応できない。
- ② 耐震ニーズの高度化により、厚みのある板の加工ニーズが高まっており、当社の現有機械ではこれに対応できない。
- ③ 切断機に従事する従業員を1名配置しているが常に作業工程が切り替わるごとに長さの設定を変える作業時間ロス(30秒程度)が発生する。
- ④ 現有切断機は導入後20年以上経過しており機械の作業誤差が発生している。以上を克服するため、今回の設備投資を決意した。

導入機械装置〔メカニカルシャーリングマシン〕



事業取組みの成果

- ① 材料の短辺部分については、既存機械を稼働させることで切断時の長さの切替にかかる時間を最小限の30秒に抑えることが出来る。結果的に作業効率を30%アップすることが可能となった。
(作業時間短縮)
- ② 機械の導入で、一台目で長辺を切断後、機械後方に切断した材料の向きを変えず、2台目で切断することで、材料移動の時間を最小限に抑えることが可能となった。
- ③ 長辺を新設機械で切断することで、今まで必要であった誤差の調整時間をなくし、短辺は長さが短いことから誤差も少なく調整する時間もほとんど発生しない。
(効率的な金属切断作業が可能となった。)

今後の活動予定

近年、中国から単価の安い製品が増加しており、コスト面で厳しい環境下にあるが、精度の高い製品を安定して提供し続けることで顧客の信頼を高めコスト削減にも取り組んでいく。

今後も耐震工事は堅調に受注できることが想定されることから、今回の事業を通じて一層戦略的に事業展開することを推し進めることとする。

(なお、現在は3次投資まで実施済みである。)

有限会社イツワ工業

- 代表者役職氏名／代表取締役 濱田忠昭
- 本社住所／〒799-3124 愛媛県伊予市三秋304番地1
- TEL／089-983-3837 □FAX／089-983-6663
- URL／<https://ituwakogyo.com/>
- メール(代表)／ituwakogyo@chic.ocn.ne.jp
- 設立年(月)(日)／2003年 6月12日 □資本金額(万円)／300万円
- 従業員数(人)／12人(役員2人除く)
- 業種／ 建築金物製造業(建設業:建築金物工事業及び建具工事業の許可を得ている)
- 事業拠点／本社工場 愛媛県伊予市三秋304番地1 第一工場 愛媛県伊予市三秋54番地
第二工場 愛媛県伊予市三秋158番地 第三工場 愛媛県伊予市三秋303番地3
- 企業概要／
現経営者が1998年に個人創業し、2003年に有限会社に組織変更し、現在地に移転したものである。
- 主要取引先
ナブコドア株式会社、文化シャッター株式会社等 30社以上と取引がある。

主要製品

	キャノピー (庇) 建物の装飾金物 ステンレスフレームに焼付塗装仕上げ
	ビルのステンレス格子付 F i x 枠・ステンレスパネル焼付塗装仕上げ ポイントはココ
	曲げ物 (アルミ水切り・一体曲げ) 雨が降った時等、水が流れ落ちて、角度がついていることにより、奥へ流れ込むことを防げる。(先から下へ水が落下) 先の幅 14 ミリ 当社の熟練工しか出来ない技術により一体型でこのサイズ

主要設備

シャーリングマシン、タレットパンチプレス・ハイブリッドドライブベンダーマシン・
TIG 溶接機・半自動溶接機・自動送り装置付鋸盤 etc.



担当者	代表取締役 濱田忠昭
連絡先	089-983-3837
連絡先 E-mail	ituwakogyo@chic.ocn.ne.jp